

研からは「社人研の紹介・日本の人口概要」(筆者),「中国民政部・政策研究中心への訪問報告」(小島克久国際関係部第2室長),「日本と東アジアにおける高齢者の居住状態」(鈴木透人口構造研究部部長),「日本の社会保障制度とガバナンス」(金子能宏政策研究連携担当参与),中国民政部からは「民政部・政策研究中心の紹介」(王傑秀主任),「中国における高齢者福祉政策」(于建明科研処研究員),「中国の社会救助政策:発展と展望」(談志林第四研究室主任)といった報告の後,討論が行われた。

中国民政部は,内務部を母体として1978年に改組・設置された中央省庁で,災害救助,NPO登記,行政区画管理,社会福祉などを担当し,中国老齡問題全国委員会が民政部に属しているなど人口高齡化についての担当省庁でもある。政策研究中心はその民生部直屬の研究所以り,7つの部署のうち5つが研究部署で,50名程度の職員を擁しており,社人研と同様の組織といえる。中国の人口高齡化を鑑み,日本の高齢者福祉・介護,生活保護,NPOとの協働,ガバナンスなど,多岐にわたる分野について情報交換を行った。(林 玲子 記)

## 第8回人口地理学国際会議

2015年6月30日から7月3日にかけて,オーストラリア・ブリスベン郊外のクィーンズランド大学において第8回人口地理学国際会議(International Conference on Population Geographies,以下ICPGと略)が開催された。ICPGは,その母体となる常設の学会組織をもたないユニークな運営体制となっているが,人口地理およびその関連分野の研究者が定期的集って最新の研究成果を発表する国際的な学術集会として,2002年の第1回大会(英セント・アンドリューズ)以降ほぼ2年ごとに開催されている。2007年に香港で開催された第4回大会以来8年ぶりのアジア・オセアニア地域での開催となった今回のICPGでは,「人口の空間的側面」(The Spatial Dimensions of Population)という統一的なカンファレンス・テーマのもと,4日間で48の口頭発表セッションおよびポスターセッションが設けられた(報告論文総数は約190本)。各国からの参加者による研究発表の内容は,地域人口や人口移動に関する実証分析から新たな推計手法の提案および検証といった方法論的な研究まで多岐に渡った。

筆者にとってとくに興味深かったのは,“Data Visualisation”と題されたセッションが複数設けられていたことである。ここでは小地域人口データの分析結果や人口の空間的な移動パターンなどの表現方法についての様々な試みが発表されており,分析手法の精緻化に加えて,分析結果の視覚化—いわゆる「見える化」—が,人口研究分野においても世界の研究者の共通の関心事となりつつあることを実感した。また,地域人口の将来推計手法に関するテキストブックで知られるDavid Swanson(米カリフォルニア大学リバーサイド校)による基調講演や,今大会のホストでもあるクィーンズランド大学人口研究所のMartin Bellらの研究グループによる国内人口移動の国際比較研究プロジェクトの成果に関する特別セッションを聴講できたのも貴重な機会であった。

当研究所からは,林玲子(国際関係部長),小池司朗(人口構造研究部室長),山内昌和(人口構造研究部室長),鎌田健司(人口構造研究部主任研究官),筆者の5名が参加し,それぞれ以下の研究発表を行った。

### 【口頭発表セッション】

- HAYASHI, Reiko "Aging in Place? Geographical Mobility of the Elderly in Japan."
- NAKAGAWA, Masataka and KAMATA, Kenji "Spatial Variations in the Association

between Institutional Care Supply and Migration of the Elderly Population in Japan: A Local Analysis using Geographically Weighted Regression."

- NAKAGAWA, Masataka "Residential Mobility, Neighbourhood Cohesion, and Health Status among the Urban Elderly in Japan: A Multilevel Analysis."

【ポスター発表セッション】

- YAMAUCHI, Masakazu and KOIKE, Shiro "Evaluation of Errors in Official Subnational Population Projections for Japan Compared to Those for English-speaking Countries and the EU."
- KAMATA, Kenji "Spatial Variations in Covariates on Marital Fertility in Japan: A Local Analysis using Geographically Weighted Regression 1980-2010."

なお、次回（第9回）のICPGは、2017年夏に米ワシントン州シアトルで開催される予定である。  
(中川雅貴 記)

## アジア人口学会2015年大会

第3回アジア人口学会大会（The 3<sup>rd</sup> Asian Population Association Conference）が2015年7月27日～30日にかけてマレーシアの首都クアラルンプールで開催された。2010年のニューデリー（インド）、2012年のバンコク（タイ）に続いて3回目となる本大会には50カ国以上の大学・研究機関、国際機関、政府機関、NGO等から約600名の参加があった。当研究所からは林玲子（国際関係部長）、鈴木透（人口構造研究部長）、菅桂太（人口構造研究部室長）、是川夕（人口動向研究部主任研究官）、鎌田健司（人口構造研究部主任研究官）、中川雅貴（国際関係部研究員）が参加し、以下の研究報告を行った。

HAYASHI, Reiko "The Healthy Life Expectancy of Japan since 1970's."

HAYASHI, Reiko "Mobility and Development through International Comparison - with a focus on East Asia."

SUZUKI, Toru "Confucian Family Pattern and Low Fertility."

SUGA, Keita "An Increasing Role of Death Rates on An Accuracy of Population Projection: Evidence From A Regional Population Projection in Japan."

KOREKAWA, Yu "An Analysis on Economic Achievement for Immigrant Women in Japan: Facing the "Double Disadvantage"?"

KAMATA, Kenji "Spatiotemporal Analysis of Marital Fertility in Japan: Using Geographically Weighted Regression 1980-2010."

NAKAGAWA, Masataka "Residential Mobility, Neighbourhood Cohesion, and Health Status among the Urban Elderly in Japan: A Multilevel Analysis."

(菅 桂太 記)